ぴーちく ぱーちく

〒569-0082 大阪府高槻市明野町 10-15
ぷりんせす明野１Ｆ
編集･発行 ＮＰＯ法人自立支援センターたかつき

第83号

2018.3.26 発行
TEL:072-672-1294 FAX:072-668-3210
MAIL:wffcj830@yahoo.co.jp
URL: http://ciltakatuki.web.fc2.com/

重度訪問介護研修が始まりました

毎年二回実施している重度訪問従事者養成研修が、2月27日から開講しました。今回の受講生は19名とあって、フォーラムでは少し手狭な中での座学でした。

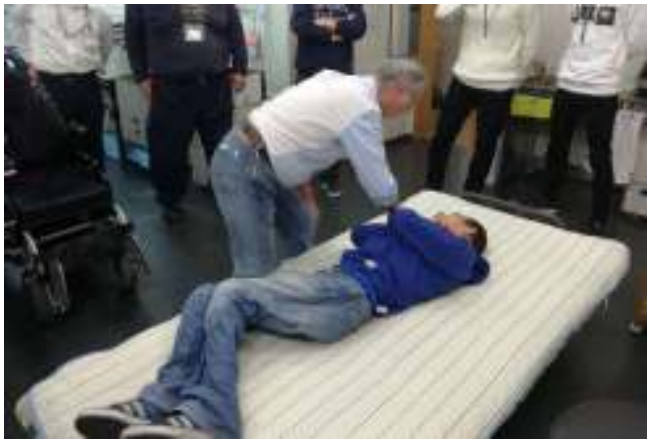
受講生さんは、いつもにまして多様で、おもしろい回になった感じがしています。特に今回は男性受講生が多く、移乗の演習では僕のお腹がこすれて真っ赤になり、まさに体を張った仕事になりました。

僕はこの重度訪問で知り合った人たちと仲良くなり、介助に入ってもらいながら生活しています。その多くは学生なので、毎年卒業・就職などで介助を辞めていったり、また新しい人が入ってくれて、まさに出会いと別れの季節を感じます。別れのこの季節はいつもさみしく感じ、これはどこから来るのかと考えたとき、介助とは健常者同士の人間関係とちがって、身体介助などしてもらったり、良くも悪くも障がい者も健常者も互いをさらけ出す関係にあるからだと思いました。僕は24時間介助者が必要で、常に人がいるという息苦しさを感じてしまうこともありますが、色んな人と出会い、別れて僕のネットワークが出来ていくことに幸せを感じています。

介助者との別れはさみしいけど、また新しい出逢いもある、それがわれわれ重度障害者の自立の醍醐味のひとつかもしれません。

研修は3月31日の外出実習をもって閉講します。実習生のみなさんあと一頑張りです。そしてそれぞれの現場で活かしてほしいと思います。

（ひろき）



「未来語りのダイアローグ」勉強会に行ってきました！

２月２２日（木）『未来語りのダイアローグ』の勉強会に行ってきました。定員50名のところ、申し込みが多かったため、会場が視聴覚室ではなく、ホールに変わりました。それくらい関心が集まっているということなのだろう。

第一部は講演会でした。フィンランドから来られた男性お二人がオープンダイアローグをするにあたって大切なことと、その大切さを話されていました。私なりに解釈すると、まず１番大切なのは対話・コミュニケーション、ではないか。そして２番目は人の話をちゃんと聞く、口下手な人にも発言してもらう。３番目に誰の意見が正しいとかで判断せず、その中で出来そうな解決策を探す、かなと。

第二部はワークショップで実際にどういうふうにしていくかを見せていただきました。大体何人とは決まってないけど、グループになって行うそうです。この時は６人の当事者、ファシリテーター２人（１人は進行、１人はホワイトボードに書いてまとめる）計8人で、壇上に上がって、輪になって座って行う形でした。１人に今気になることや悩んでることを言ってもらうというシーンから始まりました。そして ここからが「未来語りのダイアローグ」の醍醐味。

まず１年後の未来（何年後でもいいが、1番イメージしやすいため １年後がベター）にタイムスリップする。去年はこんなことに悩んでたけど、どう変わったかを本人とみんなで順番に言っていく。一通りして、現在に戻り、良い方向になるために、自分は全体的と悩んでる人に対して、何をしたかを想像して、また一人ずつ順番に言っていく。ピアカンと同じく守秘義務があるので、内容や出た意見が詳しく書けないから、説明が難しいな。。。そしてそれぞれが考え出た中で、すぐにでも出来そうなことを選び、実践するようにしていくという感じかな。何ヶ月かに一回、経過を見るためにもやっていくといいそうです。

見させていただいて私なりに思ったのは、一人一人に聞いていくので長時間を要するが、それぞれの意見や考えを聞く事が出来るし、ひとつの問題をみんなで解決していくというポジティブな姿勢が垣間みれたことから、とてもいい取り組みだと思いました。（みか）

今月から新連載『あら！ほぉ～な人生』がはじまります。大同さんと椿本さんが交互に、自分史を展開していきます。まずは大同さんから、スタートします。

大同美香です。今回から始まった「あら！ほぉ～な人生」ですが、私もひろきくんも年齢的にアラフォーということにちなんだタイトルです。そして、はじめのうちは「あらっ！」て驚かれると思うけど、最後には「ほぉ～」と納得してもらえるかな、という思いも込めました。その通りになるよう、頑張りたいと思います。

☆　☆　☆　☆　☆　☆

私が自立フォーラムに来るようになって、もう丸１２年になります。

高校卒業した当時の私は、両手がないから何も出来ないので作業所に行っても仕方がないと思っていました。ただ、家にいてもつまらないし外に出たほうがいいと家族に勧められたこともあり、行くことにしました。そのおかげで、自立フォーラムで出会ったメンバーさんやスタッフの人たちと知り合うことができて、ちょっとずつ世界が変わっていきました。

人とのつながりが増えていって、外に出る機会が増して、まさに自分の世界が広がっていっているような実感があります。

（この前研修会に参加したときも、通りすがりのひとにトイレ介助をお願いしました。全く知らない人にトイレ介助をお願いすると、なぜか２人ぐらい介助に来てくれます。しかし私の介助は１人で大丈夫なので、介助に“あぶれた”もう一方の人を「何をしたらいいのか分からない・・・」という状況にしてしまいがちです。）

そんな自立フォーラムのメンバーさんのほとんどは重度訪問介護という制度を利用し、２４時間ヘルパーを付け自立生活しておられるので、行きたいところに行き、したいことをして結構思い通りの生活をしておられます。フォーラムの皆と出会って、『趣味や生き甲斐があれば、人生をエンジョイできる』ことを知りました。

で、私はというと・・・。在宅で家族と生活して自立などしていないし、20年間絵を習い、個展を6回ひらかせてもらったけど、生まれ変わっても障害者でいいかどうかは？の状態です。でもいつか重度訪問を利用して自立しないといけないと、自立フォーラムのメンバーさんと出会って、思い始めてきました。

そして去年は重度訪問利用のため頑張って戦いに行ったのですが、国や府の常識が不思議と通用しない「高槻王国」だからなのか、呆気なく敗北 orz。敵は市役所にあり！という感じですが、まー今年もぼちぼちやっていこうか、と考えているところです。

さて私のここ最近の話には、また戻ってくることにして、次回からは私の小さい頃の話へ、タイムスリーップ！

《文・大同美香》

自立支援センターたかつき～わたしたちが、やっていること～

・**重度訪問介護従業者養成研修**：年に2回（9月と3月ごろ）研修を行っています。
・**ピアカウンセリング**：当事者同士でお互いの気持ちを共感・共有します。
・**自立生活プログラム(ＩＬＰ)**：宿泊体験・外出体験・料理体験など自分の自立生活に必要な知識や経験を身につけていきます。
・**自立体験室**：実際にヘルパーを使って生活をする体験ができます。誰でも使えるので気軽に声をかけてね。
・**相談・情報提供**：障がい者の生活に必要な情報の提供を行い、相談にのります。
・**障がい者　自立フォーラム(地域活動支援センターⅢ型)**：日中に集い、障がいを持つ仲間や、友人作りの場として活用して下さい。私たちと一緒に自分探しをしませんか?
　その他、お花見、ビアガーデン、クリスマス会などの交流の場をみんなで考えて計画しています。お気軽に遊びに来てください！

【現任研修/学習会】

「合理的配慮」ってなあに？

次回の学習会のテーマは「合理的配慮」です。
ひごろ疑問に思うこと、知りたいことを話し合いましょう！
日時　2018年4月28日（土）10：00～12：00
場所　当事業所事務所にて
申込は、自立支援センターたかつき（072-672-1294）まで
※当日参加も可。ヘルパーさんへは、2時間分の研修参加費、交通費が支給されます。ヘルパー、利用者以外の方も参加大歓迎！

新しい書籍の紹介

事務所の本棚にあります。
貸出もできますよ！

・認定ＮＰＯ法人タートル『中途失明Ⅲ～未来を信じて～』
2015年　認定ＮＰＯ法人タートル
・森川美絵『介護はいかにして「労働」となったのか
（現代社会政策のフロンティア）』2015年　ミネルヴァ書房

4月のフォーラムの予定

☆毎週木曜日はクラフトの日！
カワイイ手作り品作り、お気軽にあそびに来て下さい♪
クラフト体験は4月5日　はじめての方無料（2回目以降500円）
☆「Mディー」4月20日　コーヒー＆ティー　120円～
プラバン作り（ドリンク付き）300円です

◎お問い合わせは自立フォーラムまで
ＴＥＬ：０７２-６７２－８５３２